

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



JA上川中央女性部
フレッシュミズ一日視察研修

2016
NO.102

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5315
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>
編集・営農部 営農振興課

9



秋田県JA大潟村青年部との交流と宮城県の現状を…！ JA上川中央青年部道外視察研修開催される

7月6～8日でJA上川中央青年部（愛別・上川支部合同）の視察研修が開催されました。

今年は秋田県JA大潟村青年部との交流・宮城県では2件の農業法人を見学させて頂きました。

《1日目》

①秋田県大潟村／（有）正八

平成6年3月設立、従業員数は17名。稲作の生産はしておらず、全面積畑作にて経営している。花の苗も育てており、大潟村内に植えている花にほぼ使われている。



②秋田県大潟村／青年部員 松本氏宅

格納庫内や作業機械等について説明していただく。米を作付けして特別栽培米のあきたこまち、低アミロースが売りのミルクローソの2品種を栽培している。

③秋田県大潟村／大潟村同友会

昭和63年に23戸の生産農家が集まって結成した組織。より高い目標の米作りのために「秋田県特別栽培米」の認定を受けて17年目。一般的な栽培方法より農薬の使用回数と化学肥料を秋田県の基準の半分に減らし、安全でおいしいお米作りを実践している。また、常に新品種の試作も行っており、同じ敷地に集荷・貯蔵・精米・パッケージ・出荷施設がある。現在新たに4万俵収容可能な倉庫を建設中で1年を通して販売できるように考えている。



《2日目》

①秋田県大潟村／JA大潟村 小林組合長と対談

43歳の時に組合長に就任。大潟村では村長およびJA組合長ともに農業後継者がなっている。

JAとしての主な収入源は、肥料・農薬・免軽・貯金共済。

大潟村は、後継者はいるが労働力不足で、農業者の離農が少なく、面積を増やすことができない等の課題がある。

②宮城県仙台市／（農）井土生産組合

震災前は家族経営が主であった井土浜地区。震災当時は7mの津波がきて農地は波を打っていた。

この組合は、震災後に設立され現在3年目。16名の地区を守りたいと強く思った人たちが集まり設立された。

当初は塩害で何も育たず、その中でもネギと玉ネギだけが残り、現在は水稻の他にハウスの中でミニトマトのトロ箱栽培にも取り組んでいる。

会社の目的は営農再開ではなく被災者の想い、人とのつながりを大切にする事、そして人が集まる場所となること。そのために継続的にお祭りを開催している。そこでは地元の方や来場者に収穫物を振る舞ったり、収穫体験をしたり毎年盛大に行われている。



《3日目》

①宮城県名取市／（有）耕谷アグリサービス

名取市耕谷地区の担い手組織として平成15年1月に設立した。ライスセンターや高性能農業機械を導入し、農地集積を図りながら環境保全型農業を目指し、水稻・麦・大豆の面積拡大と高収益作物・農産加工に取り組んでいる。

うるち米の他、もち米も生産しており、もち加工施設も所有。育苗ハウスではイチゴを栽培して地域の方を対象に収穫体験を実施。

米の収穫期には収穫感謝祭を開催するなど、人との交流も大切にしている。





JA上川中央青年部 道外視察研修を終えて

JA上川中央青年部

愛別支部 高田 峰雄



今回の道外研修は、現上川管内青年部協議会副会長の成田真市さんが東北・北海道青年部大会にて秋田県JA大潟村の青年部と交流をもち、大潟村へのお誘いをいただいたことにより実現しました。しかしながら、当初の活動計画にはなく来年以降との声もありました。野口組合長より「現在復興が進んでいるが、まだ震災の傷跡が残る東北の被災地を今見ておくべき」という助言をいただき、部員からも賛同を得ての研修となりました。

秋田県大潟村での視察は、数件の農家・法人の見学やJA大潟村の組合長とお話をさせていただきました。驚くことに大潟村は農業収入の98%が米であるのに対し、農協は一切販売委託しておらず農家が個人や株式会社で包装、販売を行っているとのことでした。

また、農業後継者の確保もされておりその9割は経営移譲が済んでいる。しかし、個別の経営面積は17ha程度と全国一面積の少ない稲作専業農家の村だそうです。組合長も40代と若く農業者も活気にあふれ志も高く、非常に刺激を受けました。

宮城県では被災から立て直した二つの農業法人を見学させていただきました。中でも(農)井戸生産組合というところは、被災を機にそれまで個別農家が多くを占めていたが、一早い復興と地域農業を守り抜く一心で一地区をまとめ上げ農業法人化されたそうです。残念ながら多くの方が営農を続けられなかったようですが、地域農業の衰退を危惧し、これまで農業とは縁のなかった方が構成員となった事や、全国から受けた支援に感謝することが会社概要に明記されており、それが印象深く残っています。

最後に活動計画にはなかった道外視察研修が実現できたのも野口組合長、前佛町長のお計らいによるところが大きく、お陰様でより多くの部員が参加できたことを深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

JA上川中央青年部

上川支部 佐藤 直哉



秋田県大潟村では終始、大潟村青年部のみなさんが案内してくださり、また夜には交流することができ、とても充実した視察となりました。部員の多くが経営移譲されているため、大潟村青年部にとっても普段入ることができない施設内や同友会社長の話など勉強になったようです。個販しているので閉鎖的かと思いましたが、そうではなくお互い情報交換しながら切磋琢磨して頑張っていました。また、大潟村を盛り上げるという共通の目標があるからこそ、みんなが同じ方を向き、適度な危機感を持つことで責任感と結束力を生み、高品質なものを生産しているのだと感じました。

宮城県では実際に被災した経営者と出会い、当時の話を聞き、衝撃を受けました。自分の想像をはるかに超え、聞いた内容を想像することは難しかったですが、まだ復興していない地区や被害にあったトラクター・施設の壁にある津波到達地点の看板を見ると現実だったのだと実感しました。今回訪問した視察先は比較的早い段階に復興事業が実施され、2年程度で復興することができましたが、今なお復興できない地区もあることを思うと一刻も早い復興を願うばかりです。視察先2件とも地元の方たちの想いや絆で生まれた組合でした。人とのつながりを大切にし、地域を守ることも営農活動の役割だと改めて気づかされました。

最後に道外視察に際しまして上川町をはじめJA上川中央よりご支援いただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。



JA大潟村青年部との交流会を実施



JA大潟村にて小林組合長を囲んで



JA上川中央女性部一日視察研修開催される

JA上川中央女性部フレッシュミズ

7月2日、JA女性部フレッシュミズ会員8名・子供4名で増毛町へ視察研修に行きました。

前日から降り続いていた雨が心配されましたが、目的のサクランボ狩りは屋根があり、濡れる事なく楽しむ事ができました。少し早い時期でしたが、真っ赤でとっても甘いサクランボがたくさんなっていました。

サクランボ狩りの後は、地酒のお店を見学、試飲なども楽しむ事ができました。

帰りには、海産物などの直売所を見学、子供達は普段あまり見たことがない水槽の中のタコやウニに歓声をあげ、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

来年は、もっとたくさんの会員の方に参加していただけるよう企画していきたいと思います。



JA上川中央女性部上川支部

7月8日、JA女性部上川支部の一日視察研修が部員21名の参加のもと開催され、恵庭市にある「えこりん村」へ視察研修に行きました。



えこりん村はちょうどバラ祭りが開催されており、庭園は色々な種類のバラがきれいに咲き誇っており、とても良い香りがしました。牧場エリアではあまり見たことのない、牧羊犬が羊の群れを連れて歩くショーを見学し、体験施設では村内で飼われているアルパカの毛を使い羊毛クラフトに挑戦しました。

昼食は村内で作っている野菜のピュッフェを楽しみ、その後、この日のメインでもある世界一大きいトマトの木（甘さは無いようですが…）を見学し研修視察は終了しました。

部員のみなさんは、農作業の合間に少し楽しいひとときを過ごされた様でした。

JA上川中央女性部愛別支部

7月21日、JA女性部愛別支部の一日研修が部員20名の参加のもと開催され、今年は札幌市「千歳鶴酒ミュージアム」の視察見学と北海道四季劇場で劇団四季によるミュージカル「ウィキッド」を鑑賞しました。

千歳鶴では酒蔵「丹頂蔵」にて工程の説明を受けながら工場見学。酒ミュージアムでは酒資料作り展示・直売店コーナーにて甘酒の試飲なども楽しむことができました。

「ウィキッド」のミュージカル鑑賞では、衣装など感動できる場面が多く、部員みんなが劇団四季の創り上げる空気に魅了され、とても充実した研修となりました。



トロ箱栽培および市場動向について 愛別町そ菜振興協議会・上川町畑作園芸振興会合同視察研修開催される



7月11～12日、愛別町そ菜振興協議会・上川町畑作園芸振興会合同の視察研修が開催されました。

1日目は、鷹栖町にて例年実施している加工用トマトに加え、きゅうりもトロ箱栽培するという説明および圃場を見学させていただきました。次に、ホクレン長沼研究農場にてトロ箱栽培および実証試験を行っている農産物・施設等を視察しました。

2日目は、札幌市中央卸売市場にて今年の出荷量および価格動向について、ホクレン食品流通センターでは札幌野菜センター・札幌パッケージセンターの取組内容および施設見学を行いました。

日頃の管理を… 上川地区青空教室開催される

7月19日、上川町東雲の東雲丸山粉乾利用組合にて上川町もち米生産団地組合（組合長 石山浩幸）による水稻青空教室が開催されました。

講師には、上川農業改良普及センターの鈴木普及員を迎え、水管理や出穂期の注意点などについて説明を受け、生産者は熱心に耳を傾けていました。

研修後、上士別の大規模水田の視察を行い、上川支所にて今後の地域の取組方について、意見交換会を行いました。



上川町大豆・そば生産部会合同 町外視察研修開催される



8月5日、上川町大豆生産部会（部会長 辰巳眞）・上川町そば生産部会（部会長 渡辺直喜）合同町外視察研修が開催されました。

栗山町の（有）粒里では畑作の取組や乾燥・調整について、農業試験場では大豆の品種別試験圃場を視察し土づくり等について説明を受けました。

部会長を中心に、質問や疑問点を伺え大変有意義な研修会となりました。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JA北海道大会決議事項である「サポーター550万人づくり」に向けて、道民の皆さんに食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジエイエイジャンプ）」のダウンロードを開始しました。

農業イベントや関連施設のチェックイン

スポットラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報

など、皆さん一人一人が北海道の魅力を再確認していただけるよう地域の魅力発信に努めて参ります。

再確認していただけるよう地域の魅力発信に努めて参ります。



JA北海道信連

北海道若手女性農業者集団 [Links] のメンバーを講師に、小学生とその親を対象とした「学ぶ・作る・食べる旬食カレッジ」札幌 親子料理教室」を開催しました。

「料理教室」と「食の講演」を通じて、地域の皆さんに地元食材のファンになってもらい、さらにJAバンクの商品・利便性を紹介してのサポーターにつなげることを目的としています。



ホクレン

酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率の低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施します。

具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。日程・事業内容の詳細は、JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

共済ホールで、「全道LA・スマサポ大会」を開催し、前年度の普及活動で優秀な成績を収めたLA62名と、スマサポ29名を表彰しました。

JA共済では、これからもLA・スマサポによる「3Q訪問活動」と「あんしんチェック」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非「一読ください」。



するーらいフ「千両みかん」

初夏から夏にかけては、苺にはじまりさくらんぼ・メロン・西瓜と果物が豊富だ。またこれから秋も深まれば柿や栗などが店先に並ぶ。



雪の多い地方にとっては縁遠い作物ではあるが。またみかん畑なども南国特有の風景である。そのみかんに因んだ落語噺に出会った。「千両みかん」は古典落語の演目でもととは、上方で生まれたものである。ある呉服屋の若旦那が急に患につき、明日をも知れぬ重病になった。医者が言うには「これは気の病で、何か心に思っていることが叶えさえすれば、きっと全快する」と診察した。

このような導入の落語噺は他にも多く、おおかたが恋の悩みであるが、「千両みかん」は珍しい噺である。いくら父親が訊ねても、若旦那は首を横に振るばかり。看かねた父親は番頭の佐兵衛を呼び出し「何が何でも若旦那の悩みを聞き出せ！」と厳令した。「きっと好きな女の子が出来たのでは」と当たりをつけて佐兵衛は口を割らない若旦那に尋ねた。「必ずどうにかするから」との番頭の言葉が、ようやく若旦那を白状させた。「果汁が滴るような甘いみかんが食べたい」あっけにとられた番頭。旦那にこの旨報告すると「不味い事を請負ったものだなあ」「どうしてですか?」「どこにみかんがあるのだ!」旦那の言う通り冬の出盛りならいざ知らず、今は真夏土用の八月。番頭ははっと気付いたがもう遅い。みかんを探し出さなければ、お前は主殺しで打首だと主人に脅される始末。

番頭は大慌てで外に出、みかん探しに右左。「みかんありますか」「ここは金物屋だ」番頭は完全にパニックに陥っていた。事情を聞いた金物屋の主人は同情し、「神田多町問屋街、万屋惣兵衛の店に行けばあるのでは」と教えてくれた。藁にも縋る想いで問合せると、幸運なことにみかんはあった。問屋の蔵の扉を開け山積みになった木箱を引きずり出す。万屋の番頭たちが次々に木箱を空ける。三つの蔵の最後の木箱に、ようやく腐っていないみかんを見つけ出した。「え、ありますか!お値段は?」「千両!!」万屋惣兵衛は佐兵衛を諭した。「遊びで店を出している訳ではない。どうしても食べたいと言うお方のために、腐るのを承知で上物ばかりを選んで貯蔵しているのだ」と。店に戻って主人に報告すると「安い!せがれの命が千両で買えれば安いものだ」と。番頭は目を白黒させ、千両箱を抱えてみかんを買い店に戻った。上手そうにみかんを食べる若旦那を横目で見ながら、事の成り行きに呆れてしまう。喜んで食べて、若旦那は三袋を残して、これを両親とお祖母さんへと番頭に手渡す。「一房百両、三つ合わせて三百両、このままずっと奉公しても、そのようなお金は手に入らぬ。旦那様には悪いが一」この番頭、みかんを三房持って失踪してしまった。落語はここで終わり、演者が頭を深く下げると、客席からの拍手が止まない。番頭にとって、みかん3房はみかん3房でしかないのだが…人それぞれが何かを感じる一夜の噺であった。

キャンペーン2016 あったか灯油



お得その1
早得ご契約
割引
キャンペーン

現在ご契約中のお客様へ うれしいお知らせ!!

さらに **3円引き!**

すでに
ご契約中の方
が対象です!

配送期間：28年9月1日~11月30日

お得その2
得割ご新規
割引
キャンペーン

新規ご契約様へ うれしいお知らせ!!

さらに **3円引き!**

最大7カ月間
の特別割引!!

配送期間：28年9月1日~29年3月31日

お得その3
新規ご契約
& ご紹介
キャンペーン

限定15組 生活応援プレゼント!!

なんと **60箱!**

60箱の
BOXティッシュ
プレゼント!

受付期間：28年9月1日~11月30日

お得その4
さらに!!

ホクレン灯油なら **盗難補償付き!!**

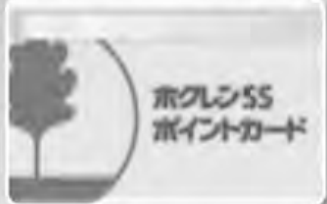
無料サービス

万-の場合は、灯油被害相当を補償いたします。

※定期配送契約のお客様に限ります。(詳細に関しましては当ホクレンSSスタッフまでお問い合わせください)

毎日が **お 得 な** 【ホクレン愛別SS・上川SS】

ホクレンSSポイントカードをご利用いただくと
ガソリン・軽油が店頭価格より **3円** お得に給油できます!!



information

農薬散布による被害発生を防ごう!

生産者の方は生産物管理、町民の方は家庭菜園や住宅周りの管理で、病害虫や雑草の駆除に苦労されていることと思います。

しかし、農薬を使用した駆除を行う場合、飛散による人的被害・農作物や樹木への影響が懸念されます。

生産現場においては、殺虫・殺菌剤の誤散布による出荷停止や商品回収における多額の損失、除草剤の飛散による作物生育抑制により減収等が近郊でも発生しております。

農薬を使用した雑草や病害虫の駆除を行う際には、周りの環境に合わせ十分は配慮を行い、被害が出ないよう次の事項に心掛けましょう。

1. 子どもが近づくような場所では、看板などを設置し立ち入らないような対策を行いましょう。
2. 人が近くを通る場所や、作物が近くにある場合は、散布方法に気をつけましょう。
 - ① 風がある場合、農薬散布は控えましょう。
 - ② 粒剤等による飛散の防止に努めましょう。
 - ③ 環境に適した、農薬を使用しましょう。
 - ④ やむを得ず微風で散布する場合は、風向きやノズルの向きに注意しましょう。
3. 収穫前の作物では、対象となる農薬の容器に記載されている時期を守り、散布するよう心掛けましょう。

※不明な点がありましたら、ご相談ください。

JA上川中央 購買部（資材課）

本 所 01658-6-5314

上川支所 01658-2-1338

購買部より商品のお知らせ

購買部では今後お客様の気になる商品・おすすめ商品の紹介をしていきます。

今回は、つけもの関連商品（樽・重石等）を取り揃えておりますのでお知らせいたします。



JAのあゆみ

8月

- 3日 上川農業試験場公開デー
定例企画会議
- 5日 上川地区農事組合長会議
あいべつ夏まつり
- 14日 愛別町米麦生産振興協議会 道外訪問
(19日)
- 20日 コープさつぽろ産直交流会
農家経済対策委員会
- 22日 J A 女性部愛別支部 役員会
臨時企画会議
- 25日 J A 青年部愛別支部 例会
J A 上川中央組合員感謝祭
(上川地区)
- 27日 上川町「ふる里まつり」
内部審査協議会監査
(購買部) (22日)
営農経済専門委員会
第7回定例理事会
役員町内作況調査
- 29日
- 30日

組合員のうごき

(平成28年7月22日現在)

正組合員戸数	372戸
総組合員数	2,569名
正組合員数	581名
うち団体数	34団体
准組合員数	1,988名
うち団体数	68団体

第6回定例理事会

平成28年7月22日開催

- 報告事項
- 1 組合員の脱退について
48名の脱退について報告した。
 - 2 臨時給与の支給について
臨時給与の支給について報告した。
 - 3 内部審査協議会監査の結果について
7月に実施された協議会監査内容を報告した。
 - 4 固定資産の取得について
6件の固定資産取得について報告した。
 - 5 平成28年産米・そば出荷契約金の支払いについて
出荷契約金支払内容を報告した。
- 議事
- 1 組合員の相続並びに譲渡について
11名の相続並びに譲渡について承認された。
 - 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
6名の加入が承認された。
 - 3 組合員感謝祭の開催について
両地区の開催日程について承認された。
上川 平成28年8月27日(土)午前9時
愛別 平成28年9月2日(金)午後3時
 - 4 規程等の制定並びに改正について
規程等の制定2件並びに改正7件が承認された。
 - 5 平成28年産米出荷契約金(追加)の支払いについて
出荷契約に基づき、支払内容について承認された。

ただいま予約受付中! お問い合わせ・お申し込みは農協へ

営農日誌

36か月日記
2017・2018・2019

●85判、256頁
●永かがりソフトカバー製本
●年月日曜日入り
●開閉で4日間3年分を記録

3年間用
B5判

定価 2,700円+税

36か月日記横
2017・2018・2019

●85判、256頁
●永かがりソフトカバー製本
●年月日曜日入り
●開閉で4日間3年分を記録

3年間用
B5判

定価 2,700円+税

365
2017
Duet

●85判、256頁
●永かがりソフトカバー製本
●年月日曜日入り
●開閉で毎日

1年間用
B6判

定価 1,300円+税

農繁期 休日対応のお知らせ

農機センター
9月22日(木・祝)
25日(日)
10月2日(日)

8:30~12:00
日直で対応します。
電話/6-5004

パズル? 頭の体操

↓ ヲコのカギ

- 1 ススキや団子を供えて月を觀賞します
- 2 芸事の家のこと
- 3 一は熱いうちに打て
- 4 お通路さんがぐるりと運る
- 5 寝相の悪い人は驚愕はしてしまいがち
- 6 夫のパートナーです
- 7 ゆっくりした速さで走ること
- 8 丸々とした——のような赤ちゃん
- 9 巨峰、ピオーネ、マスカットベリーA といえ
- 10 花束に結ばれいっそう華やかに
- 11 宣伝などを書いて通行人に配る物

↓ タテのカギ

- 1 分速を60倍すると
- 2 一にかけて育てた作物
- 3 無の反対語
- 4 ()や【 】などのこと
- 5 結婚式でご祝儀を渡したり芳名帳に記入したりする場所
- 6 引いて当たり外れを決めます
- 7 一重の人も二重の人もいます
- 8 あまり顔の良くない医者のこと
- 9 鳥籠の中に付ける棒
- 10 マツタケを——蒸しにして食べた
- 11 一のように丸い月
- 12 カメやカッパの背中に付いています
- 13 プロレスの試合で「カーン!」と鳴らします

パズル? 頭の体操

先月号の答え

解答 A B C D E
センプウキ